

運転台関連



●車両イラストはイメージです。

運転台選択スイッチ・方向切換スイッチ

おもに鉄道車両の運転台や運転席の背面に備えられている切換スイッチです。戸閉め切換スイッチ、前後切換スイッチと呼ばれる場合もあります。

終着駅などでは列車の進行方向を反転させる時に、車掌スイッチ（扉を開閉するときに使用するスイッチ）などの回路を制御する必要があり、そのような回路の切り換えに用いられます。



BMZ Jシリーズ

連結開放スイッチ・連結操作スイッチ

おもに運転台の横や、背面などに取り付けられています。列車は運行する時間や路線に合わせて、車両数を増減させることがあります。また、故障などのトラブルの時に、他の列車や機関車に牽引してもらうこともあります。

列車の連結・開放時には、電気連結器へ接続されている回路を制御する必要があり、その役目をするのが連結開放スイッチです。



BMZ Jシリーズ

運転台表示灯

運転台には、時計や速度計などのメーター類の他に「ATS動作」「対雪ブレーキ」など、各種機器の状態を運転士が確認するために、表示灯が搭載されています。

従来は白熱球を使用していましたが、近年では球切れの可能性が大幅に低減されたLED式が主流となっています。表示内容の重要度や、種類により色分けをされる場合もあります。



保安器切換スイッチ、保安器開放スイッチ

列車には、衝突防止や過速度防止などの安全性確保のために、保安器（保安装置）が搭載されています。保安器には、ATS、ATC、ATO、戸閉め保安装置などの種類があり、鉄道会社ごとに仕様も異なります。

異なる鉄道事業者の路線にまたがって運転する相互乗り入れの列車は、それぞれの路線の保安器を搭載しており、他の路線に乗り入れた時には、走行する路線に合わせた保安器に切り換える必要があります。その回路の切り換えに用いられるのが保安器切換スイッチです。

保安器の故障などのトラブル時に、機能を停止させるために、保安器の回路を開放させる役割として搭載されている場合もあります。



BMZCPシリーズ